

press release

国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 特別展のお知らせ

日ごろよりお世話になりありがとうございます。

湯浅八郎記念館では、新春 1 月 10 日より、以下のとおり展覧会を開催いたします。

ご案内にお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。

特別展「とり、とりどり」

Birds in Form and Design

新年の干支である^{ひのと}酉にちなみ、当館の収蔵資料の中から、さまざまな鳥をあしらった工芸品と浮世絵を紹介する企画展です。

大空を自由に舞い飛ぶ鳥たちの姿に、昔も今も人は憧れのまなざしを向けてきました。古代から狩猟や飼育によって食料とされる一方、天地をつなぐ神聖な使いとして祭礼で尊ばれ、万葉集では渡りが季節の移ろいを告げる便りと詠われています。美しいさえずりや睦まじく集う様から、幸福や和合の^{しるし}徴ともされました。

平安時代以降、宮中では闘鶏や鷹狩がもてはやされ、鳥は娯楽の対象ともなっています。交易によって珍しい外来種が持ち込まれると、色あざやかな姿形や美しい鳴き声を楽しむ観賞や愛玩のための飼鳥の文化が流行しました。長寿や繁栄を表す題材として花鳥画において盛んに描かれたほか、江戸時代には本草学に基づいた図譜にも数多く取り上げられました。

いつの時代も人間の身近にあった鳥は、人々が手元で愛で用いた品々にも特に数多く登場するモチーフです。鶴や鷹、架空の存在である^{ほうおう}鳳凰といったおめでたいものから、雀や鳩、鶏や^{からす}烏など今も日常で目にする類まで、人と鳥との多様で豊かな関わりを示すその意匠の数々を、お楽しみいただきたいと思います。

展覧会名：特別展「とり、とりどり」

Birds in Form and Design

会場：湯浅八郎記念館 2 階 特別展示室

会期：2017 年 1 月 10 日（火）～3 月 10 日（金）

開館時間：火～金曜日 10：00～17：00／土曜日 10：00～16：30

休館日：日曜、月曜、祝日、2 月 3 日（金）、2 月 4 日（土）、3 月 4 日（土）

入館料：無料

展示資料：約 110 点

染織（祭着、^{ながぎ}長着、^{よぎ}夜着、^{やくじ}夜具地、^{ふくさ}袱紗、^{はこせこ}筥迫、^{ゆうぜんぞめ}友禅染雛形、^{びんがた}紅型、^{かたぞめ}型染、^{かすり}紼、^{さらさ}更紗）

漆芸（^{ひでひらわん}秀衡碗、^{さげじゅう}重箱、^{おおひら}提重、^{おおひら}大平、^{えがわり}盆、^{くし}椀、^{こがし}膳、^{こがし}絵替皿、^{こがし}鏡台、^{こがし}櫛、^{こがし}筭）

陶磁（^{あんどん}染付鉢、^{あんどん}染付皿、^{あんどん}絵皿、^{あんどん}行灯皿、^{あんどん}石皿、^{あんどん}クリスマスプレート）

金工（^{えかがみ}柄鏡、^{つぼ}鐺）

木工（^{えかがみ}菓子木型、^{えかがみ}染色用版木）

紙（^{えかがみ}染型紙、^{えかがみ}罫、^{えかがみ}型染絵、^{えかがみ}浮世絵、^{えかがみ}画譜）

郷土玩具（^{えかがみ}土人形、^{えかがみ}張子、^{えかがみ}笛、^{えかがみ}蔓細工、^{えかがみ}木彫人形）

交通：JR 中央線三鷹駅および武蔵境駅より小田急バス「国際基督教大学行」終点下車
または武蔵境駅南口よりタクシー10分

関連イベント：第100回公開講座「キャンパスの知られざる野鳥たちの暮らし」

講師 上遠岳彦氏（国際基督教大学講師）

日時 2017年2月25日（土）14:00～15:30

会場 湯浅八郎記念館エントランスホール

聴講無料・予約制

お問い合わせ等は以下までお願いいたします。

国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館（担当 具嶋恵 ぐしまめぐみ）

〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

TEL:0422-33-3340 FAX:0422-33-3485 E-mail:gmeigumi@icu.ac.jp

なお、**12月23日から1月5日は大学の一斉休暇期間**となりますので、ご連絡は**12月22日まで、または1月6日以降**にお願いいたします。



●^{ふくさ}袱紗 ^{かんこどり}諫鼓鶏文（絹・刺繍）



●^{さどはら}佐土原土人形 鷹かつぎ

画像データ（カラー）をご入用の場合は、ご遠慮なくお申し付けください。